

実績報告書

届出者	住所	滋賀県彦根市西今町1番地	氏名	株式会社平和堂 代表取締役社長 平松 正嗣
特定事業者の主たる業種		56各種商品小売業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に食料品、衣料品、住居関連品、医薬品などの販売を行っており、関西・東海・北陸エリアに149店舗を出店。内、大阪府内の店舗は18店。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量		
区分	基準年度(26)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	17,503 t-CO ₂	19,078 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	19,968 t-CO ₂	21,793 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況					
区分		削減目標 (29 年度)	第1年度 (27 年度)	第2年度 (28 年度)	第3年度 (0 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	0 %	0 %	0 %	0 %
	レ	削減率(原単位ベース)	3 %	2.4 %	-3.2 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	2.5 %	-3.3 %	0 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (大阪府内店舗の売場面積と平均営業時間)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)
売場面積1,000㎡当たり、かつ、営業時間1時間当たりの排出量を分母にして、単位は「kg・h・千㎡」としています。これは、新規出店や閉店、増床等による影響と営業時間の延長等の影響を除いた形で削減に取り組み、評価するためです。

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

一部店舗で改装等による冷ケース増設、加工場の増設などを実施しており削減できていない結果となったが、引き続き日々のこまめな節電を徹底する。
--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

当社は、本部を含む全店舗で環境マネジメントシステムを導入し、ISO14001の認証を取得しています。本部のEMS推進会議を中心に全社を挙げて環境保全活動に取り組んでいます。温室効果ガスの削減についても環境方針の中で「地球温暖化防止のため、CO₂排出量を削減します。」と明記し、環境目的・目標として積極的に取り組んでいます。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出及び人工排熱の区分	事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	GHG排出	全ての事業所	コード (1112)	LPG・都市ガス・購入電力を一次エネルギーとして電力換算し、毎月記録管理する。原単位での前年比の推移を管理しEMSで前年比超過の場合、不適合として是正処置を行う。	27 年度
	人工排熱		同左		29 年度
	平準化				
2	GHG排出	全ての事業所	コード (1114)	後方部門（事務所・更衣室・社員食堂・POSルーム等）の節電・消灯状況及び空調温度等を毎日2回点検・記録し運用の適正チェックを継続して行う。	27 年度
	人工排熱		同左		29 年度
	平準化				
3	GHG排出	全ての事業所	コード (1114)	売場の冷凍・冷蔵ケース、後方の冷凍庫・冷蔵庫の温度が適切に維持されているか毎日3回（開店時、14時、18時）点検・記録する。	27 年度
	人工排熱		同左		29 年度
	平準化				
4	GHG排出	改装店舗	コード (1215)	改装時には、省エネ効果の高い冷凍・冷蔵設備に更新する。※現時点では、対象店舗が決定していないが、計画期間内での導入を図る。	27 年度
	人工排熱		同左		29 年度
	平準化				
5	GHG排出	FM高槻川添店	コード (1222)	太陽光発電設備（126kw）を設置する。	27 年度
	人工排熱		同左		0 年度
	平準化				
6	GHG排出	AP枚方	コード (1218)	省エネ効果の高いLED照明設備への更新。	27 年度
	人工排熱		同左		0 年度
	平準化				
7	GHG排出	FM枚方養父店	コード (1222)	太陽光発電設備（72kw）を設置する。	28 年度
	人工排熱		同左		0 年度
	平準化				
8	GHG排出	VM寝屋川店、FM高槻川添店	コード (1218)	冷蔵ケースの照明をT5管から省エネ効果の高いLEDとする。	27 年度
	人工排熱		同左		0 年度
	平準化				
9	GHG排出	AP茨木	コード (1218)	省エネ効果の高いLED照明設備への更新のため、補助金申請を行う。	28 年度
	人工排熱		補助金不採択		0 年度
	平準化				
10	GHG排出	AP茨木	コード (1218)	省エネ効果の高いLED照明設備への更新（3階アミューズメント）	28 年度
	人工排熱		同左		0 年度
	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出及び人工排熱の区分	事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	GHG排出		コード		年度
	人工排熱				~
					年度

(3) その他の抑制対策
